

平成28年1月8日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

電子レンジ、電気こんろ、電気ストーブ（ハロゲンヒーター）に関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照）

1. ガス機器・石油機器に関する事故 8件
（うちガスこんろ（LPガス用）1件、石油給湯機1件、
継ぎ手ホース（LPガス用）1件、ガス栓（LPガス用）1件、
石油温風暖房機（開放式）1件、
密閉式（BF式）ガス給湯付ふろがま（LPガス用）1件、
石油給湯機（薪兼用）1件、石油ストーブ（開放式）1件）
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 9件
（うち電子レンジ1件、電気洗濯機1件、コンセント2件、
電気こんろ1件、折りたたみ自転車1件、
リモコン（ガス給湯付ふろがま用）1件、
電気ストーブ（ハロゲンヒーター）1件、電气温風機1件）
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 7件
（うち電気ポンプ1件、電動アシスト自転車1件、
接続ケーブル（太陽光発電システム用）1件、コンセント1件、
電気温水器1件、延長コード1件、容器（耐熱ガラス製）1件）
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）
において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 三洋電機株式会社が輸入した電子レンジについて（管理番号A201500616）

① 事故事象について

三洋電機株式会社が輸入した電子レンジを使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、製品内部の電源コードと基板を接続する配線に製造時の不具合があり、使用に伴って接触不良が生じ、接続部が発熱して電源コード被覆が発火し、製品内の冷却用ファンに延焼して火災に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2008年（平成20年）6月20日にウェブサイトへの情報掲載を行うとともに、同年6月21日に新聞社告を掲載し、対象製品について、注意喚起及び無償改修（電源コードの交換及び難燃性を向上させた冷却用ファンへの交換）を実施しています。

また、同社では、2009年（平成21年）6月9日から18日までにかけて新聞社告を再度掲載、2010年（平成22年）9月から当該リコール情報を掲載したチラシを作成して販売店等を通じ消費者に配布、2011年（平成23年）2月から生活情報誌等に広告を掲載するとともに、同年4月から再度ダイレクトメールの発送を行っています。

なお、直近では、2015年（平成27年）に新聞折り込みチラシの配布及び業種別ダイレクトメールの送付を行うとともに、応答のない使用者に電話連絡や訪問を行うなど、今後も更なる注意喚起及び無償改修を呼び掛けています。

③ 対象製品：対象機種、製造番号、改修対象台数

対象機種	製造番号	改修対象台数	対象機種	製造番号	改修対象台数	
EMO-CH3 (HW)	023001～025000	2,000	EMO-MVP5	全ての製造番号	5,800	
EMO-S3 (HL)	043501～051500	8,000	EMO-MVP6		3,900	
EMO-SH1 (H)	006001～009000	3,000	EMO-MVP7		3,990	
EMO-BC8	全ての製造番号	5,586	EMO-S4		69,600	
EMO-CH4		45,000	EMO-S5		34,400	
EMO-CH5		67,600	EMO-S6		31,355	
EMO-CH6		66,810	EMO-S7		27,175	
EMO-CH7		69,151	EMO-S8		29,509	
EMO-CH8		86,856	EMO-S9		19,152	
EMO-CH9		92,568	EMO-SJ9		4,788	
EMO-CH10		78,999	EMO-T5		18,500	
EMO-H40		17,800	EMO-T6		11,245	
EMO-H60		9,450	EMO-T7		12,803	
EMO-KDH1		34,341	EMO-TH5		11,970	
EMO-ME5		3,700	EMO-TH6		7,980	
					EMO-CH8FF	1,680
合 計					884,708	

※2000年（平成12年）6月～2007年（平成19年）9月の間に製造されたもの

※「EMO-CH8FF」は、Franc francブランド

2008年（平成20年）6月20日からリコール（無償改修）を実施
改修率 18.0%（2015年11月30日時点）

＜リコール対象製品での事故件数＞

当該事故（A201500616）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

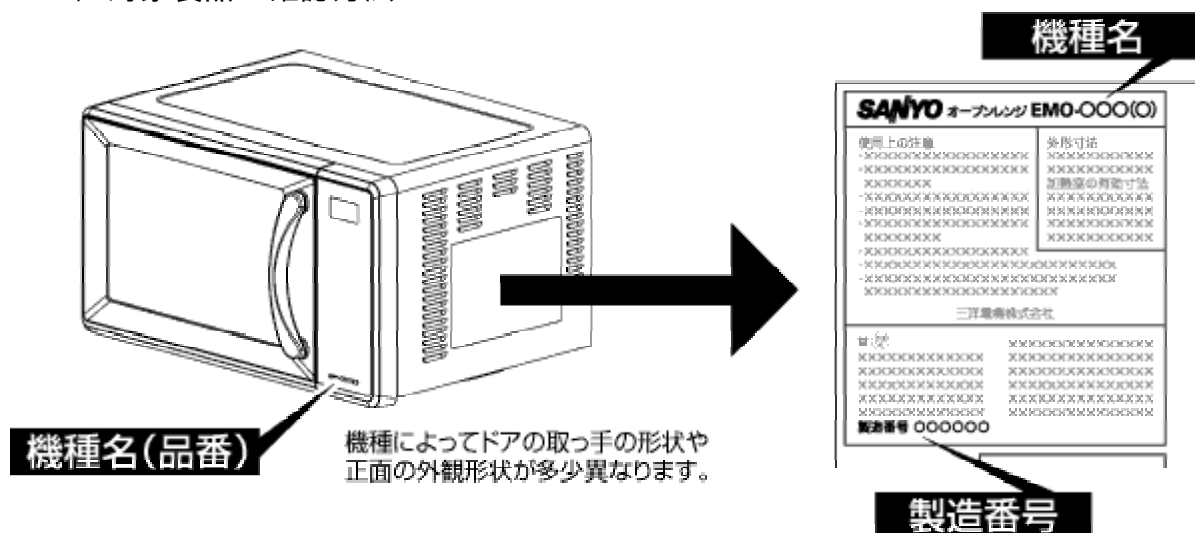
年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2015年度	1	火災	2012年度	2	火災
2014年度	1	火災	2011年度	0	—
2013年度	1	火災	2010年度	3	火災

＜対象製品の外観及び確認方法＞

1) 対象製品の外観（写真はEMO-S7）



2) 対象製品の確認方法



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、まだ事業者の行う無償改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

三洋電機株式会社 オープンレンジ相談室

電話番号：0120-34-1105

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/080711.html

(2) 日立熱器具株式会社（現 日立アプライアンス株式会社）が製造した電気こんろについて（管理番号A201500627）

※組み込み先のキッチンメーカーは不明

①事件事象について

日立熱器具株式会社（現 日立アプライアンス株式会社）が製造した電気こんろの付近にあった可燃物を焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の付近にあった可燃物が燃えたものと考えられます。

②再発防止策について

ミニキッチン等に組み込まれた電気こんろのスイッチ部のつまみが飛び出ている形状のものについては、身体や荷物が知らないうちにつまみに触れ、スイッチが入ってしまい、火災に至る事故が相次いで発生しています。

このため、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社により「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」が設立され、2007年（平成19年）7月3日から無償改修（スイッチパネルのつまみへのカバーの取付け）への取組を実施し、新聞社告への掲載、新聞折り込みチラシの配布を行うとともに、各地の消防局に協力要請を行う等、無償改修を進めています（現在11社が継続実施）。

今回報告のあった事故（管理番号A201500627）の製品は、同協議会が取り組んでいる無償改修の対象製品であったことから、今後も更なる無償改修の促進に向けて取り組んでいくこととしています。

③対象製品

対象製品の機種・型式及び各事業者名、問合せ先等は、別紙のとおりです。

【リコール実施状況】

2007年（平成19年）7月3日から無償改修を実施

改修対象台数、改修率

一口電気こんろ（今般事故の型式HT-1250を含む。）

改修対象台数 530, 401台（全社合計）

改修率 96.3%（2015年12月31日時点）

上面操作一口電気こんろ

改修対象台数 60, 969台（全社合計）

改修率 74.1%（2015年12月31日時点）

複数口電気こんろ

改修対象台数 147, 700台（全社合計）

改修率 69.8%（2015年12月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201500627）発生以前の、同社が製造した電気こんろにおけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

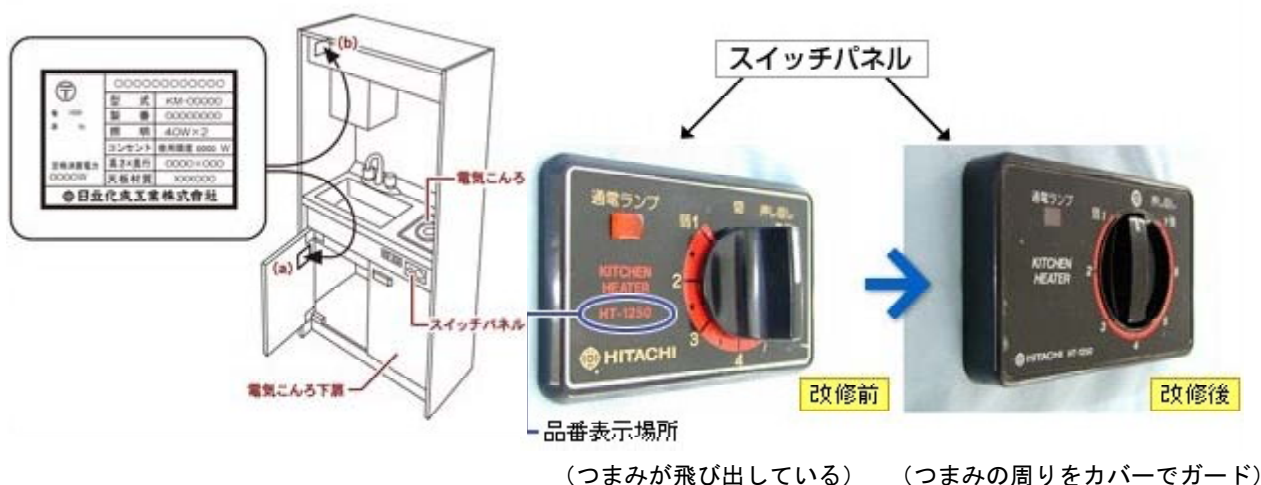
年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2015年度	2	火災	2012年度	3	火災
2014年度	0	—	2011年度	5	火災
2013年度	3	火災	2010年度	3	火災

<対象製品の外観及び確認方法>

対象製品の外観（写真はHT-1250）



対象製品の確認方法：キッチンユニットの扉内側、上部壁又はスイッチパネルのつまみ部に表示している型式等を御確認ください。



「メーカー名」及び「品番」につきましては、扉の内側やスイッチなどを御確認ください。

「品番」が表示されていない場合は、「メーカー名」又は「スイッチ部の形状」を御確認の上、下記問合せ先まで御連絡ください。

改修対象の電気こんろは、スイッチパネルのつまみが飛び出ている形状のものになります。

④使用者への注意喚起

電気こんろの上や周辺に可燃物を置くことを避けていただくとともに、電気こんろのスイッチパネルのつまみにカバーのない製品をお使いで、まだ当該つまみにカバーを付ける改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

使用者の方々及び対象製品を設置するアパート等を所有又は管理されている方々におかれては、事業者が行う訪問改修に御協力いただくようお願いいたします。

【問合せ先】

日立アプライアンス株式会社

電話番号：0120-256-557

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：http://kadenfan.hitachi.co.jp/ch_info/

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会

電話番号：0120-355-915

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.denki-konro.jp/>

（参考）

消費者庁では、2014年（平成26年）6月11日に「お持ちではありませんか？リコールが行われている台所用機器」として、リコールが行われている電気こんろ、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、IH調理器、電気ケトルで火災等が発生した14製品について、リコール対象機種・型式を提示し、発煙・発火のおそれがあるとして注意を呼び掛けています。

ウェブサイト：http://www.caa.go.jp/safety/pdf/140611kouhyou_1.pdf

火災事故防止に向けて 改修のお願い

1977年から2004年までに製造したキッチンユニット等で使用の電気こんろを探しています

身体や物が接触し、意図せずスイッチが「入」となる可能性がある構造であったために、電気こんろの上や周囲に可燃物が置かれていて、火災事故に至る危険性があります。



一口こんろ(前面操作) ※写真は富士工業製



ブランド表示はHITACHIまたは、sunwave
一口こんろ(上面操作)



複数口こんろ(前面操作のみ)

長期間使用されない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

対象製品 スイッチ部外観例



つまみが飛び出している電気こんろが対象です。

改修済み製品 スイッチ部外観例



周りにガードのあるつまみは改修済みです。引き続きご使用いただけます。

【対象製品】

形式	電気こんろメーカー(親社名)	電気こんろ品番
前面操作一口電気こんろ※1	サンウエーブ工業	SBE-101-100V, SBE-101-200V, FHS-31A, FHS-31B
	東芝ライフスタイル (旧東芝株式会社 東芝コンシューマーマーケティング株式会社)	BHP-111, BHP-121
	パナソニック アプライアンス社 (旧パナソニック株式会社 松下電器産業株式会社)	NK-1101, NK-1102, NK-2101, NK-2102
	日立アプライアンス	HT-1250, HT-1550, HT-1250T
	ハウステック(旧住友 株式会社日立ハウステック)	HK-1102, HK-2102, HT-1250C
	富士工業 三菱電機	FH-31A, FH-31B (品番表記がなく、100V, 200Vのみを表示している製品もあります。) CR-1201, CR-1201A, CR-1202, CR-1501, CR-1501A, CR-1501B
上面操作一口電気こんろ※1	サンウエーブ工業	HT-1290, HT-1500
	日立アプライアンス	HT-1290, HT-1290T, HT-1500
複数口電気こんろ※2	サンウエーブ工業	SBE-2G, SBE-3G, SBE-3T
	東芝ライフスタイル (旧東芝株式会社 東芝コンシューマーマーケティング株式会社)	HP-2000, HP-2000J, HP-2000T, HP-3000, UHP-S36A, UHP-S36AT, BHP-361T, BHP-365, BHP-461, BHP-461N, BHP-461W
	パナソニック アプライアンス社 (旧パナソニック株式会社 松下電器産業株式会社)	NK-2220, NK-2251, NK-2252, NK-2306, HNT-2200 (※3), NK-2201, NK-2202, NK-2203, NK-2301, NK-2302, NK-2303, NK-2204, NK-2204CM, NK-2204M, NK-2304, NK-2305, NK-2307
	日立アプライアンス	HT-3000G, HT-3010G, HT-3310, HT-3510, HT-3511A, HT-4510, HT-D3451, HT-D4451, HT-D4451SS
	富士工業	FH-62, FH-621, FH-63, NSH-621, SBA-201, SBA-211, SBA-211A, SBA-301, SBA-311, SBA-311L

※1. 小形キッチンユニット(冷蔵庫付きタイプ・扉仕様タイプ等もあります)に組み込まれています ※2. 据置き型・ビルトイン型があります ※3. ブランド名はHEC

上記電気こんろは、下記協議会加盟キッチンユニットメーカー他のキッチンまたはキッチンテーブル等に組み込まれている場合があります。

【小形キッチンユニット用電気こんろ協議会加盟キッチンユニットメーカー(五十音順)】

クリナップ株式会社、三協立山株式会社、タカラスタンダード株式会社、パナソニック株式会社、エコソリューションズ社

【小形キッチンユニット用電気こんろ協議会加盟会社名・お問い合わせ先(五十音順)】

誠に申し訳ありませんが電気こんろのスイッチを無償で改修いたしますので、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

クリナップ株式会社 0120-126-174 http://cleanup.jp/	三協立山株式会社 (旧社名 三協立山アルミ株式会社) 0120-202-436 http://www.st-grp.co.jp/	タカラスタンダード株式会社 0120-200-805 http://www.takara-standard.co.jp/
東芝ライフスタイル株式会社 (旧東芝株式会社 東芝コンシューマーマーケティング株式会社) 0120-668-401 http://www.toshiba.co.jp/tha/	株式会社ハウステック (旧社名 株式会社日立ハウステック) 0120-524-852 http://www.housetec.co.jp/	パナソニック株式会社 アプライアンス社 (旧パナソニック株式会社 松下電器産業株式会社) 0120-391-391 http://panasonic.co.jp/
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 (旧パナソニック株式会社 松下電工株式会社) 0120-116-484 http://panasonic-denko.co.jp/	日立アプライアンス株式会社 0120-256-557 http://www.hitachi-ap.co.jp/	富士工業株式会社 0120-500-621 http://www.fjic.co.jp/
三菱電機株式会社 0120-099-506 http://www.mitsubishielectric.co.jp/	株式会社 LIXIL (旧社名 サンウエーブ工業株式会社) 0120-190-530 http://www.sunwave.co.jp/	

フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの個人情報、当該製品の点検と改修目的以外には使用いたしません。

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会 0120-355-915 メールアドレス dkk.jimu@denki-konro.jp

<http://www.denki-konro.jp/>



総務省消防庁・東京消防庁・経済産業省の各ホームページにも掲載され、注意喚起並びに改修を促進しています。

総務省消防庁 <http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi1908/pdf/190824yo307.pdf>

東京消防庁 <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/topics/200910/kitchen.html>

経済産業省 http://www.meti.go.jp/product_safety/recall/file/chuui_kanki/denkikonro.htm

サンクン
 (3) 燦坤日本電器株式会社が輸入し、株式会社フィフティが販売した電気ストーブ（ハロゲンヒーター）について（管理番号A201500637）

①事象について

燦坤日本電器株式会社が輸入し、株式会社フィフティが販売した電気ストーブ（ハロゲンヒーター）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品の強弱切替スイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）8月7日、2008年（平成20年）4月21日及び2011年（平成23年）2月10日にウェブサイトへ情報掲載し、また、2011年（平成23年）2月、2012年（平成24年）2月及び2013年（平成25年）3月に新聞社告を掲載し、2014年（平成26年）1月にインターネット広告（yahoo バナー広告）を行い、さらに、販売店においてポスター掲示、ダイレクトメールの送付等を行い、対象製品について製品回収及び返金を実施しています。

また、2008年（平成20年）4月21日にリコールし、既に代替品として交換した「機種：UHC-3T」についても製品回収及び返金を実施しています。

③対象製品：製品名、機種・型式、表示製造年、対象台数

製品名	機種・型式	表示製造年	対象台数
電気ストーブ （カーボンヒーター）	UHC-3T （色：ベージュ） ブランド名：EUPA（ユーパ）	2009年製 2008年製	16,269
	UHC-9T （色：ブルー） ブランド名：EUPA（ユーパ）	2007年製	10,303
	TSK-5328CT ブランド名：EUPA（ユーパ）	2007年製 2006年製 2005年製	29,131
	TSK-5328CRI	2006年製 2005年製	882
	TSK-5328CRI (BW) ※販売元：(株)バルス	2005年製	486
電気ストーブ （ハロゲンヒーター）	FS-900T ※販売元：(株)フィフティ	2007年製 2006年製	15,593
合 計			72,664

2007年（平成19年）8月7日からリコール（製品回収・返金）を実施
 回収率 11.0%（2015年11月30日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201500637）発生以前の、同社の当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（調査中のものであってリコール対象の内容かどうか不明なものを含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2015年度	4	火災	2012年度	2	火災
2014年度	1	火災	2011年度	3	火災
2013年度	2	火災	2010年度	6	火災

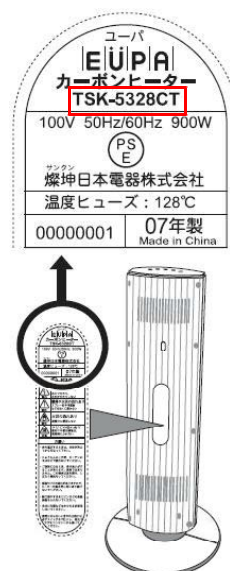
<対象製品の外観及び確認方法>

1) 対象製品の外観



(写真はFS-900T)

2) 対象製品の確認方法：当該製品の裏面の型番を御確認ください。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う製品回収及び返金を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

燦坤日本電器株式会社
株式会社フィフティ

電気ストーブ・カーボンヒーター・ハロゲンヒーター回収ダイヤル

電話番号：0120-600-527

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.tsannkuen.jp/kinkoku.html>

<http://fifty-fifty.jp/index.php?100329recall>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 木原、清重
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(三洋電機株式会社が輸入した電子レンジについて、日立熱器具株式会社(現 日立アプライアンス株式会社)が製造した電気こんろについて、燦坤日本電器株式会社が輸入し、株式会社フィフティが販売した電気ストーブ(ハロゲンヒーター)についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担 当 : 下出、岸田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201500618	平成27年12月20日	平成27年12月28日	ガスこんろ(LPガス用)	PA-SE600-R	パロマ工業株式会社 (現 株式会社パロマ)	火災 軽傷3名	当該製品を使用中、建物2棟を全焼する火災が発生し、3名が軽傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	千葉県	
A201500621	平成27年12月15日	平成27年12月28日	石油給湯機	UIB-310TX3(M)	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	茨城県	製造から20年以上経過した製品
A201500624	平成27年12月16日	平成27年12月28日	継ぎ手ホース(LPガス用)	EC40007-00004	株式会社十川ゴム	火災	飲食店で当該製品をガス栓に接続してガス機器を使用したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	福井県	ガス栓に関する事故 (A201500625)と同一
A201500625	平成27年12月16日	平成27年12月28日	ガス栓(LPガス用)	G015AZ-12P	光陽産業株式会社	火災	飲食店で当該製品に継ぎ手ホースを接続してガス機器を使用したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	福井県	継ぎ手ホースに関する事故 (A201500624)と同一
A201500626	平成27年12月6日	平成27年12月28日	石油温風暖房機(開放式)	FW-3060E	ダイニチ工業株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	北海道	平成27年12月17日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201500633	平成27年12月22日	平成28年1月4日	密閉式(BF式)ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	GBSQ-605	株式会社ノーリツ	火災	当該製品の点火操作を繰り返したところ、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	愛知県	平成27年12月28日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済
A201500634	平成27年12月20日	平成28年1月4日	石油給湯機(薪兼用)	HG-35S	株式会社長府製作所	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	茨城県	製造から30年以上経過した製品 平成28年1月7日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201500639	平成27年12月20日	平成28年1月6日	石油ストーブ(開放式)	SX-1850	株式会社コロナ	火災	当該製品の給油タンクに給油後、当該製品に戻す際に灯油がこぼれ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	滋賀県	製造から20年以上経過した製品

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201500616	平成27年12月16日	平成27年12月28日	電子レンジ	EMO-S7	三洋電機株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、製品内部の電源コードと基板を接続する配線に製造時の不具合があり、使用に伴って接触不良が生じ、接続部が発熱して電源コード被覆が発火し、製品内の冷却用ファンに延焼して火災に至ったものと考えられる。	東京都	平成20年6月20日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:18.0%
A201500617	平成27年12月21日	平成27年12月28日	電気洗濯機	SW-520N	三洋電機株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	
A201500622	平成27年12月14日	平成27年12月28日	コンセント	DG2122(東芝ライテック株式会社ブランド)	株式会社新光製作所 (東芝ライテック株式会社ブランド)	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	埼玉県	
A201500623	平成27年12月13日	平成27年12月28日	コンセント	DG2132(東芝ライテック株式会社ブランド)	株式会社新光製作所 (東芝ライテック株式会社ブランド)	火災	飲食店で当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	三重県	
A201500627	平成27年12月12日	平成27年12月28日	電気こんろ	HT-1250(組み込み先のキッチンメーカーは不明)	日立熱器具株式会社 (現 日立アプライアンス株式会社)	火災	当該製品の付近にあった可燃物を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の付近にあった可燃物が燃えたものと考えられる。	福岡県	製造から25年以上経過した製品 平成27年12月25日に消費者安全法の重大事故等として公表済 平成19年7月3日から事業者が共同してリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:96.3%(一口電気こんろ合計)
A201500629	平成27年12月2日	平成28年1月4日	折りたたみ自転車	Boardwalk D7	株式会社アキボウ (輸入事業者)	重傷1名	当該製品で走行中、当該製品の折り畳み部が破損し、転倒、腕を負傷した。現在、原因を調査中。	東京都	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201500635	平成27年12月27日	平成28年1月5日	リモコン(ガス給湯付ふるがま用)	RC-7601M	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	
A201500637	平成27年12月19日	平成28年1月6日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	FS-900T(株式会社フィフティブランド)	燦坤日本電器株式会社(株式会社フィフティブランド) (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品の強弱切替スイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと考えられる。	新潟県	平成28年1月7日に消費者安全法の重大事故等として公表済 平成19年8月7日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:11.0%
A201500638	平成27年12月28日	平成28年1月6日	電気温風機	HX-910	シャープ株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	埼玉県	製造から25年以上経過した製品

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201500619	平成27年12月18日	平成27年12月28日	電気ポンプ	死亡1名	施設で当該製品を使用して浴槽からお湯を排水中、感電し、1名が死亡した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	三重県	
A201500620	平成27年12月22日	平成27年12月28日	電動アシスト自転車	重傷1名	当該製品で走行中、転倒し、脚を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	奈良県	
A201500628	平成27年12月24日	平成27年12月28日	接続ケーブル(太陽光発電システム用)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の施工状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	
A201500630	平成27年12月6日	平成28年1月4日	コンセント	火災	当該製品に延長コードを接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	石川県	延長コードに関する事故(A201500632)と同一事業者が重大製品事故として認識したのは平成27年12月22日
A201500631	平成27年11月21日	平成28年1月4日	電気温水器	火災	当該製品が破裂し、周辺を破損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	新潟県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成27年12月25日
A201500632	平成27年12月6日	平成28年1月4日	延長コード	火災	当該製品をコンセントに接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	石川県	コンセントに関する事故(A201500630)と同一事業者が重大製品事故をとて認識したのは平成27年12月22日
A201500636	平成27年12月18日	平成28年1月6日	容器(耐熱ガラス製)	重傷1名	当該製品をお湯で洗浄中、当該製品が割れて、手を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

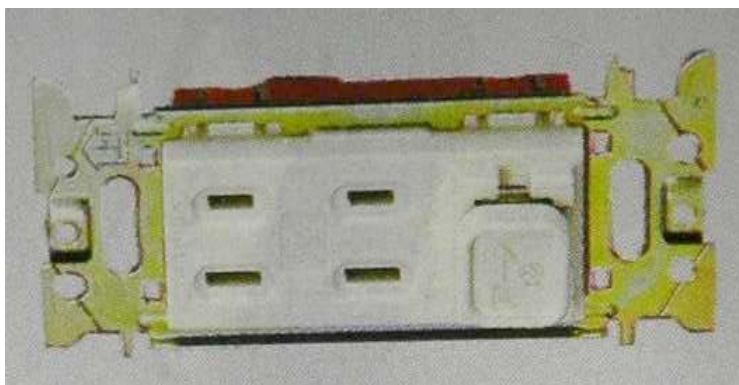
電気洗濯機（管理番号：A201500617）



コンセント（管理番号：A201500622）



コンセント（管理番号：A201500623）



リモコン（ガス給湯付ふろがま用）（管理番号：A201500635）



電気温風機（管理番号：A201500638）

